

曹洞俳壇

選・村松五灰子

飾りして静かな待機消防車

秋田県 小田嵩恭葉

評 お飾りを付け市民を守るため頼もしいかな真つ赤な消防車。穏やかなお正月を迎えている。良い年であれかしと思いは深い。

葉師寺の塔より投網鰯雲

新潟県 星野 三興

評 あり得ないことだが、大胆な発想でしかも映像が浮かぶから愉快だ。余程見事な鰯雲だったのだろう。句も鮮やかである。

◆青春の短すぎたる木の葉髪

佐賀県 池内 淳子

◆冬草や故郷は過疎の棲む処

青森県 中田 瑞穂

◆本籍の地に住み古りて木の葉髪

山口県 御江やよひ

◆一人児の独り会話や小鳥来る

静岡県 小泉八千代

◆田も畑も息をひそめて初時雨

東京都 矢野 祥子

◆ひたすらに遠山めざし秋の蝶

愛媛県 井上 征郎

◆ときめきは幾つかは欲し初暦

岩手県 上沖 貞子

◆元旦や故郷の方々ご機嫌か

ロシアンジェルズ 井上 健一

◆綿虫や降りる人なき無人駅

長野県 田中 晃子

◆生かされてまた生きてゆく玉子酒

福島県 佐藤 宣夫

*選者吟

現世に虚子が忘れし落椿

五灰子

*作句小見

椿が好きで特に藪椿に心を寄せている。

誰でもそうであるように一句一句に深い思いが付いている。

昭和六十一年私は初めて鎌倉の寿福寺で行われる虚子忌に

参加。裏墓地に続く道には鮮やかな落椿が二つ三つあった。

掲句は椿のことをことのほか愛した虚子に思いを馳せた句。

曹洞歌壇

選・長澤 ちづ

鬼ヶ城渚を占めて秋刀魚干す筈に連なり光る銀鱗
三重県 山下 利夫

評 三重県熊野市の鬼ヶ城はユネスコの世界自然遺産にも登録されるリアス式海岸の景勝地。そのみか秋刀魚の食文化の発祥地でもあるらしい。潮風に干した秋刀魚は絶品とか。「銀鱗」に地元への誇りが籠められる。

農夫らの手と足たりしトラクター リサイ
クル店に積み置かれおり 宮城県 須藤智恵子

評 東日本大震災の被災地、宮城県名取地区のリサイクル店。五年経っても修理されず野積みされる農夫の誇りたるトラクターに被害の甚大さと人々の心の傷の深さを思いやる作者。

刈り株がみな影曳ける田の月夜 宴を終えて帰る農道
長野県 毛涯 潤
◆大根を蒔きたる後の秋雨が土撫づるがに音無く降りぬ
岐阜県 後藤 進

◆故紙に出す青春の日の本ありてアンダーラインは夢追いし跡
鳥取県 山本 浩一

◆気をつけてと言へば少年振り向かず片手を上げて自転車に去る
東京都 長谷川 暉

◆怠けてはいけませんよと猫の目が日向ぼこする我を責めてる
東京都 野村 信廣

◆勝ったとていばるなおごるな負けたとてひがむなひるむな 舞の海言う
岩手県 池田 眸

◆百舌と書くモズという鳥電線に百羽もいそがな晩秋の暮れ
秋田県 小松 紀子

◆親類の庭より届く梅もどき床の九谷に挿して眺める
新潟県 星野 三興

◆黒土に白き長き根寝かせやるひと雨ごとに立ち上がる葱
山口県 横川美代子

◆なりゆきになすすべもなき世となりぬ不安に夜の雨音激し
山口県 濱田 道子

*選者詠

雲母刷りの美しき写本の覆刻本つれづれなるまま読みたくなりぬ
ちづ

*作歌小見

鋭い声で啼くからだるうか、モズを漢字で表すと「百舌」と書く。その字面から百羽の舌を想像した小松さんの機知とユーモアに拍手を送りたい。こんな発想が生まれるのも心にゆとりがあればこそ。見倣いたい。



大本山永平寺



心を一つに

やわらかな日の光に春を観ずる時節となりました。

ここ永平寺では、新しい修行僧たちが続々と上山してまいります。着物の着方やお袈裟のつけ方、合掌、低頭、礼拝など、まだごこない新修行僧たちは、食事作法や鳴らし物など、永平寺で生活をしていくうえで必要なことを身につける見習い期間を過ごします。みな初めてのことばかりで、緊張と不安から思うようにいかず失敗の連続です。

その新修行僧たちに厳しくも温かく教えてゆくのが、昨年上山し二年目を迎えた修行僧たちです。先輩修行僧たちの所作はどれをとっても明らかに違います。しかし、そんな先輩たちも「このような教え方で良いのだろうか、正しく教えることが出来ているのだろうか」などと戸惑い悩みながら接しているのです。そして、自分もはじめは何もわからず先輩に教えて頂いたことを思い出し、その先輩の思いと、実は「教えるということも自らの修行なのだ」ということに気づいてゆくのです。

新修行僧は先輩の姿をみて、先輩修行僧は自分の上山のときを新修行僧の姿に重ね、互いに心を一つにし、この永平寺という修行道場で共に学び修行に励んでゆくのです。

ご本山だより



大本山總持寺



「祈りの夕べ」と彼岸会、總持寺展

今月で東日本大震災から丸五年が経ちます。總持寺では本年も地元鶴見区文化協会の御協力をいただき、三月十二日（土）に大祖堂で大震災復興を祈念する「祈りの夕べ」を開催いたします。

今回の「祈りの夕べ」は、毎年参加の福島県安積黎明高校合唱部に加え、地元横浜市鶴見区の潮田中学校マーチングバンド部による震災復興祈念演奏が披露されます。また被災地福島県飯館村から届きましたビデオレターも放映いたします。

また、東日本大震災が起こった十一日には、犠牲になられた方々の慰霊法要をお勤めいたします。

さて、十七日から二十三日は春のお彼岸週間です。この期間は
大祖堂で毎日施食会が行われます。

特に二十日のお中日には江川辰三しんざん三禅師さまが大導師を勤められ、大勢の檀信徒の皆さまと亡きご先祖さまに掌を合わせます。

また、御両尊大遠忌法会の記念行事として、本年四月と十月に「禅の心とかたち 總持寺の至宝」と銘打ち、所蔵する寺宝や文化財を展示する「特別展」を鎌倉と名古屋で開催いたします。

それに先立ち「旗揚げ展」を、彼岸会中の三月十九日（土）から二十一日（月）まで總持寺仏殿を会場に開催します。この機会にご来場御拝観くださいますようお願い申し上げます。